

多宝会新聞

発行所
 社会福祉法人多宝会
 本部事務局広報室
 福島市本町4-23
 024-522-6611
 mail
 honbu@
 tahokai.
 jp

平成三十一年度第一回

苦情解決第三者委員会開催

本年度第一回目となる「苦情解決第三者委員会」が9月7日午後2時より、まちなか宝生園・会議室において開催されました。各施設の「苦情受付担当者」「苦情解決責任者」に加え、外部の有識者で構成される「苦情解決第三者委員」の首長により、本年度上半期に各事業所に寄せら



れたご意見やご要望、お申し立てをもとに、実態報告ならびに課題解決およびサービスの質の向上に資する精査、協議が行われました。本委員会に提出された報告は9件。事例としては、スタッフの心配りやサービス提供方法に関する疑問、送迎を行う事業所については、運行の標準化や時間管理の在り方への要望等がありました。

「これらの声は、事業所内部では気付くことのできなかった点についてご指摘いただいたということであり、期待の裏返しでもある。真摯に受け止め改善に努めていくことが、サービスの質の向上に直結する。」また「ご意見や要望を頂けるといことは、様々なお声を受け止めることの出発点である。今後、ご利用者やご家族との更なる友好関係を築いていけるよう努めて下さい。」等の貴重なアドバイスを拝することができました。

本委員会では、職員「適当」や「慣れ」または「このくらいでいいや」という不誠実の排除という根本的な課題が提起されたと同時に、福祉とは「豊かさ」と幸せの異名であることの認識を改めて固めさせて頂くことができました。

その他の参加メンバーからも課題解決のための意見が活発に交わされ、一つひとつの案件に真剣に向き合い、充実の協議が成されました。

閉会と共に、下半期も緊張感を持ち、どこまでも誠意ある対応でサービスの質の向上を果たして行くことを確認しました。

各種講座・研修を開催

法人内研修

齊藤夕子施設長が講師となり、法人内の各施設において「移動・移乗に関する基礎知識」と題して研修を開催しました。スライドを見ながら説明をし、移動・移乗の必要性とボディメカニクスを学びました。積極的に意見も飛び交い、皆さん真剣な眼差しで受講していました。



排泄ケアセミナー

まちなか宝生園でおむつ会社のサポートカウンセラーにご協力いただき、「ご利用者の状態像に合わせた適切なおむつのあて方」の勉強会を開催しました。介護職は、実践力を高め介護を必要とする人々の個別・具体的なニーズに応える役割を担うため、真剣に講義を受けていました。



安全運転講習

アリヴァール宝生園・宝寿木村屋の職員が保険会社より外部講師を招き、安全運転研修を行いました。介護・福祉車両の事故防止について学びました。送迎車両の死角範囲など改めて知る事実がたくさんあり、とても勉強になりました。



上名倉東部千寿会へ講師派遣

上名倉東部千寿会から研修会の講師派遣要請があり、会員を対象に「いきいきももりん体操」を実施しました。半澤梢江保健師より体操の効果やポイントを説明し、渡辺夏来社会福祉士のお手本のもと、皆さん体操をされました。「なかなか効くね」と辛そうな声も挙がっていました。皆様最後まで熱心に取組まれました。



トピックス

土湯宝生園避難訓練

5階から火災発生、初期消火失敗、避難するという想定のもと、ケアハウス・デイサービスご利用者全員と職員で避難訓練を行いました。全員参加の緊張感がある訓練で、全員真剣に取り組めました。訓練後、実際に消火散水栓の使用方法的説明を頂き、実際に放水し、使用方法や注意事項を学びました。



宝寿木村屋避難訓練

夜間想定にて、限られた人員での避難訓練を行いました。夜間の火災発生の場合は、初動が極めて重要なことから、訓練中は緊張感がありました。火災時に入居者避難と防寒対策の両方が出来る方法として、布団を活用しながら誘導する方法を学びました。



特浴入替え

アリヴァール宝生園の特浴槽が新しくなりました。浴室内の雰囲気も明るくなり、今まで以上に楽しい入浴の時間が提供できるようになりました。



「24時間テレビ」チャリティー募金より蓄電池寄贈

まちなか宝生園が「福祉避難所に対する蓄電池設置事業」にて24時間テレビより、「蓄電池」を頂きました。停電時に非常用電源を安全に確保できるようにになりました。



ボランティア清掃活動

5年以上前から、アリヴァール宝生園、ほのぼの宝生園の「敷地内除草」に無償でご尽力くださっており、地域ボランティアとしても幅広く活躍の「ほのぼの」の上町会 みどりの会」の皆様が今年もお越し頂きました。

敷地面積が広く、施設職員だけの維持管理では容易ではない除草作業ですが、早朝からの丁寧な作業により、隅々までキレイになりました。心より感謝を申し上げます。



桜梅桃李

「サービス業」には多種多様な職種や業態が含まれる。中でも「命」と「人生」に直接向き合うという意味では「介護」を置いて他はない。

先月11月27日に外国人労働者の受け入れを拡大する入管難民法などの改正案が衆院を通過した。我が国の人口減少は、時流にして不可避であろう。県内においても現在約187万人まで減少。2045年には約131万人になると予想されている。抗うとすれば「外国人の受け入れ施策」は不可避であろう。

外国人労働者の受け入れは介護の世界にも押し寄せている。10年前に開始されたEPA(経済連携協定)を皮切りに、現在では在留資格に「介護」を加える法整備が進められており、より幅広い外国人介護福祉士の受け入れが進むこととなる。これらの施策は、介護業界における人材不足の解消を助けるキラーコンテンツになることは間違いない。その反面、人の命と直接向き合う辛い仕事であるが故の不安は解消されないだろう。我が県においては、2025年の介護人材の不足率が25.9%で全国1位となる予測が出ている。それぞれの介護分野において、多様な文化と人材を受け入れる覚悟と態勢の確立が急がれる。

ご厚志御礼

遠藤留味子様
 佐久間郁子様
 久保寺孝幸様

この度はご寄付を賜り誠に有難うございました。心より感謝申し上げます。

多宝会のロゴマークは漢字の心の文字をデザインしました。人としての振る舞いは心の働きによることから、その在り方こそが大切であると考えています。黄は奉仕、青は信頼、赤は勇気を表しています。

施設の話題をいち早くお届けする

多宝会ホットライン

多宝会の基本理念は「日々に心・日々に信・日々に新」を掲げています。誠実な心と行動によって信頼が築かれ安心の日々をお過ごしいただけると考えています。スタッフ一同、明るく、優しく、朗らかに、一日一日を大切に、人と地域を元気にしたいと思っています。

土湯宝生園

ケアハウスの敬老の集い

第一部の式典では、卒寿1名、米寿3名、喜寿2名の方々に、表彰状と花束を贈呈致しました。第二部は会食です。特製の松花弁当を頂きながら、ご利用者、ご家族と一緒に長寿のお祝いをしました。また、ボランティアのむねたや様に、素敵なギターや歌声を披露して頂きました。曲を聞くだけでなく、合唱したりと楽しいお祝いの席となりました。



デイサービスの敬老の集い

今年は、卒寿5名、傘寿1名、米寿2名、喜寿4名の皆様が表彰されました。表彰後、どら焼きを作り、抹茶でお祝いをしました。どら焼きは、焦げてしまったりうまくひっくり返せなかったりとアクシデントもありましたが、とても美味しく出来上がりました。最後に思い出の写真のDVDを鑑賞し、楽しく過ごしました。



秋のドライブ

紅葉見学を兼ね、猪苗代方面にドライブに出掛けました。野口英世記念館、世界のガラス館などを見学し、昼食には喜多方ラーメンや会津ソースカツ丼など、ご当地名物を堪能しました。道中の中津川渓谷の紅葉は、とても綺麗で見応えもあり車内で歓声が響き渡りました。



デイサービスの紅葉狩り

紅葉狩りに出掛けました。秋晴れの中、銀杏並木などをドライブしながら、紅葉見学に行きました。また、あづま運動公園ではパラ園を散策したり、豚汁を食べたりと心も体も温まりました。



感染症予防について (多宝会からのお願い)

インフルエンザ・ノロウイルスが流行する季節になりました。施設での面会の際は、入口での手の消毒、マスクの着用にご協力をよろしくお願い致します。



こころ 心美のささやき

今年の秋は寒暖の差が大きかったせいも、紅葉の色付きが良く、とても綺麗でした。もう師走ですね。皆様にとって平成最後の年末年始が穏やかな日々となりませうように、あと一歩、暴飲暴食には注意して下さいね。笑顔

アリヴァーレ・ほのぼの宝生園

敬老の集い

今年は、卒寿4名、米寿4名、喜寿3名の方がお祝いの日を迎えました。式典では新日本舞踊藤代流の皆様が踊りを披露してくれました。また、一年間の様子をスライドショーで振り返り素敵な笑顔がたくさん映し出されご家族にもいい報告ができました。その後祝い膳では、お赤飯、お造り、天ぷら等を頂きました。「こんご馳走なら毎日敬老の日でも」という声も聞かれました。



音楽療法

「月の砂漠」という曲では、藤井先生が持参して下さいましたパールやセンズなどでお姫様気分を満喫しました。歌の雰囲気や衣装などで感じる事ができて、とても嬉しそうでした。



こころシアター

毎月第4週にこころホールにてDVDの上映会を行っています。9月は「あまちゃん」を上映しました。おなじみの音楽が流れると、こころホールに集まって皆さん楽しそうに見ていました。



芋煮会

あいにくの天気となり、今年のほのぼの宝生園の芋煮会は園内で行いました。佐倉婦人会の方々にお手伝いを頂きながら、きのこ・栗入味ご飯、秋刀魚甘露煮、芋煮汁等、秋の味覚に舌鼓を打ち、皆で楽しむことができました。



まちなか宝生園

敬老の集い

午前中にご利用者が全員参加できるよう、二部形式で式典を行い、昼食にご家族と一緒に祝御膳。午後からは職員による「よさこい」と杉妻芸能協会様による舞踊と民謡でお祝いをしました。少々長丁場でしたが、参加された皆様は大変楽しんでおりました。



デイサービスの敬老の集い

長寿の表彰ではひとり一人に写真付きの賞状が授与されました。その後昨年に引き続き、「第2回紙相撲大会秋場所」が開催されました。最初は相手の力を確認すべく優しくトントン。徐々に叩く力も強くなり白熱した戦いとなりました。トーナメントを勝ち進み、横綱が決定し盛り上がりました。



デイサービスの紅葉狩り

あづま運動公園銀杏並木に紅葉狩りに行きました。皆さんの願いが叶い、お天気も良く、紅葉を見ながら芋煮を食べることができました。「今年も綺麗なのが見られた〜、幸せ」と皆さん喜ばれていました。



お買い物イベント

8階こころホールにて、お買い物イベントが行われました。たくさんのご利用者がショッピングを楽しみました。試着をし鏡を見て笑顔になるご利用者。特に女性は、ショッピングが大好きな様子です。



宝寿木村屋

敬老の集い

100歳の方1名、卒寿3名、米寿2名の方々に祝いが贈られました。式典では、オカリナ教室の先生が披露して下さい、スライドショーでは感動に涙する利用者、ご家族がいっぱいでした。その後の祝い膳では特大の海老の天ぷらや具沢山のこづゆなどのご馳走に、舌鼓を打ちました。



防災パレード

太鼓の音が聞えたので、急いで外に出たところ、防災パレードは通り過ぎた後でした。しかし、わざわざ戻って来て下さり目の前で演奏して下さいました。感謝して涙するご利用者もいらっしゃいました。



蕎麦打ち

食の一切を担っているエームサービスにより蕎麦打ちの実演が行われました。目の前で打った蕎麦を、すぐに食べられて幸せそうでした。天ぷらは5種から好きな物を選んで食べました。食欲の秋の始まりです。



芋煮会

食欲の秋。恒例の芋煮会を行いました。芋煮を作り、味ご飯のおにぎりを皆で作りました。おかわりをしてたくさん食べたせいか、皆さん食後は動けませんでした。「来年は外でやりたいね」と話しが弾みました。



各種ご相談は各施設までお気軽にどうぞ、見学等も随時お受けしております。

土湯宝生園	024-594-5900	西部地域包括支援センター	024-594-5800
アリヴァーレ宝生園	024-594-0061	土湯宝生園指定居宅介護支援事業所	024-594-5902
ほのぼの宝生園	024-594-0063	湯ったりデイサービス	024-594-5900
まちなか宝生園	024-521-1122	法人本部事務局	024-522-6611
宝寿木村屋	024-594-5122	URL	http://www.tahokai.jp